慶應志木会会報

慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

1995(春・夏号) ●vol.13

収穫祭が消える??

気温も上昇を始め、真夏の太陽がもうすぐそこまできている今日この頃ですが、同窓会会員諸兄はいかがお過ごしでしょうか。さて今回の志木会報では、いささかショッキングな問題を提起させていただきます。

去る5月26日(金)に池袋メトロポリタンホテルにて、志木会幹事と教職員の方々の懇親会が開催されました。その席上、同封した別紙の文章が配られ、在校生達が2年前から進めてきた**収穫祭**改革の仕上として「名称を変更したい」という希望がある事が判明しました。当日OBとしての考えを何人かの方が賛否両論共発表なさいましたが、多数決を採ってみると、名称変更に賛成の方は小数であり、大半は変更には反対とのことでした。後日の幹事会の席でもやはり話題となり、ある幹事は、「青島某知事でもあるまいし、変更したいと言うだけでは困る。名称を変えることにより、何がどう変化するのか明確にする必要がある。」と発言し、又、ある幹事は「OB達のノスタルジーと在校生の希望は別の問題です。OBは金は出しても口は出さないのが良いと思う。」等々、様々な意見が出ました。当日の結論としては、「**収穫祭**とは、在校生達が主役ではあるが、我々OB達共有の財産でもあり、この幹事会で軽々しく名称変更の決を採れるような問題ではない。」との点に達しました。

そこで、今回の志木会報を読まれた会員の皆様の中でご意見のある方は、母校の収穫祭担当教諭まで、どんどん発言をなさって下さい。OBから意見が無い場合、「**収穫祭**」の名称は消えてしまうかも知れません。

但し、まことに急で申し訳ありませんが、収穫祭準備の都合上ご意見は7月7日(金)迄に学校に着くように御願いいたします。

連絡先：慶應義塾志木高等学校　収穫祭担当：河野，龍田　両教諭

Tel. 048－471－1361

Fax. 048－474－3008

FROM SHIKI ●志木だより

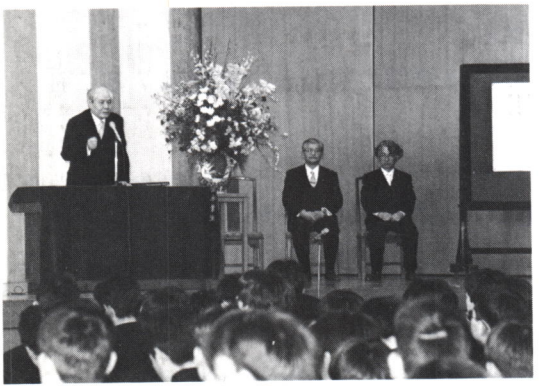
卒業式

3月24日(金)に第45回卒業式が挙行され、251名の卒業生を送り出した。卒業生の進学先は、文学部13名、経済学部86名、法学部法律学科40名、法学部政治学科38名、商学部12名、医学部5名、理工学部23名、総合政策学部13名、環境情報学部18名、その他推薦辞退3名は、東大、一橋、日本歯科大へと合格した。優等賞8名、皆勤賞15名、精勤賞39名の受賞のほか卒業40周年記念証の贈呈もあって、5期の卒業生秋庭勝廣、飯田三代、加藤晴彦、木下聡、小池徳太郎、小林石三、関山清、高橋直衛、竹下武比古、龍野光久、寺嶋延行、寺本守、藤井洵、宮田勝、安川通夫、矢作実利、林成郎、渡辺弘治の18名の各氏がご出席くださり、宮田勝代表より学校にご寄附を賜わりました。本校の教育充実資金の一助として役立てさせていただきます。有難うございました。

入学式

4月6日(木)に平成7年度入学式が挙行され、259名の生徒が入学しました。内訳は1758名の志願者の中から選抜された212名の外部からの受験生(うち帰国19名)と、普通部から14名、中等部から33名の計47名が内部からの進学者でした。

また、YFUから今年も米国よりライアン・クラーク君が来日し、1年間本校の3年生として勉学することになった。



課外の科目

今年度から1・2年合同の課外の科目が始まった。昨年と同じ28科目が開講された。これに先立ちガイダンスとして文学部から近森正教授(民族学・考古学専攻)に『ことばと文化』と題した特別講演をお願いしました。

教職員の異動

今年は3月31日をもって数学科の牛尾格先生が定年退職なされました。また、同じ数学科の松岡勝男先生が日本大学経済学部に、山口泰先生が慶應女子高に移られ、物理科の山田達之輔先生はニューヨーク学院に異動となりました。また、図書館の佐々木正康氏は三田の斯道文庫に異動となりました。

志木会幹事との懇親会

5月26日(金)志木会からのお招きで、ホテル・メトロポリタンの曙の間にて盛大なる会を開催していただきました。出席の教職員一同に代わって心よりお礼申し上げます。

早慶戦の応援

今年度はじめての試みとして、5月27日(土)第1回戦の応援に1年生全員を引率して早慶戦に出かけ試合の応援をした。

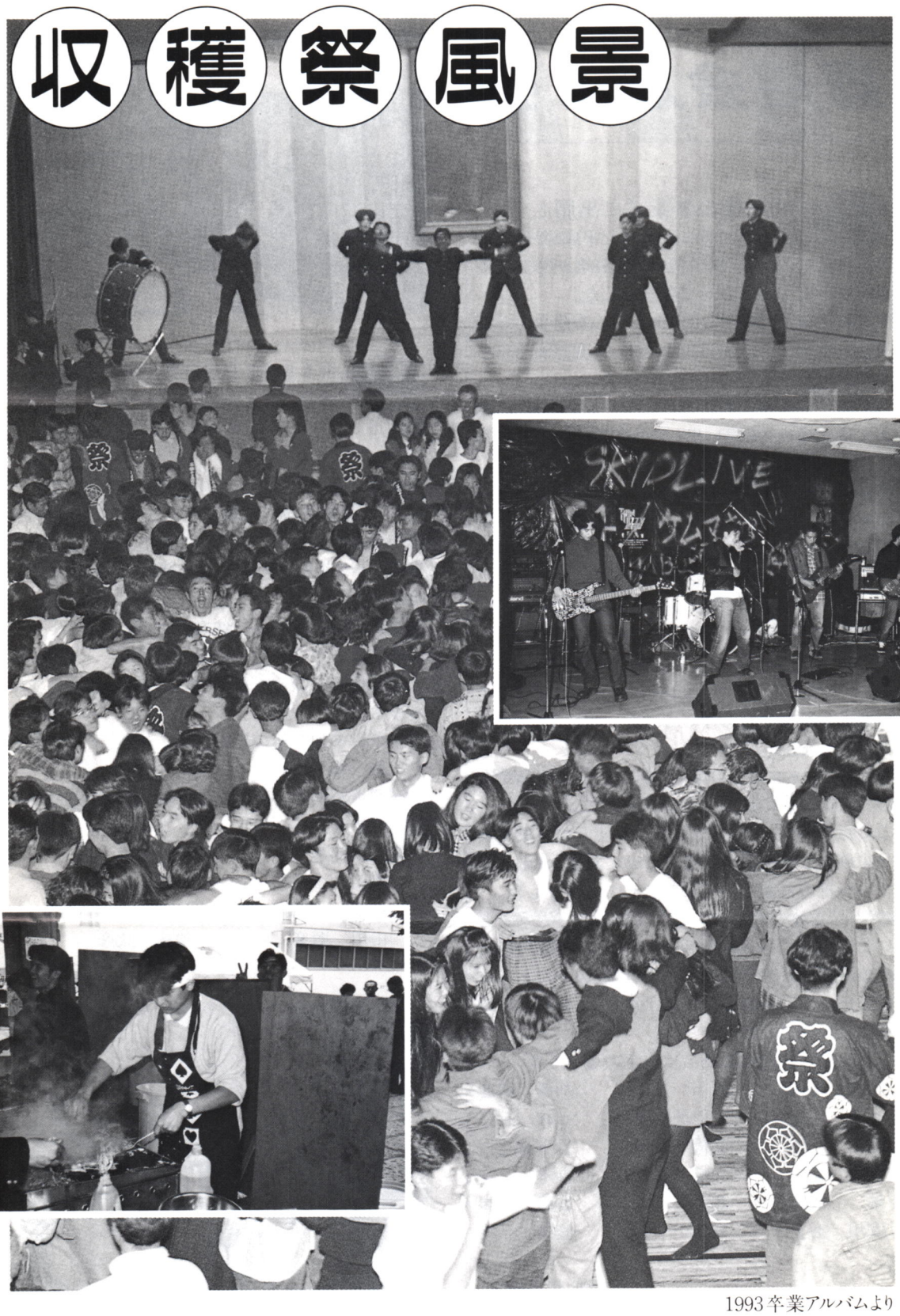
運動会・クラスマッチ

今年度、この二つの体育行事をひとつにし7/7(金)より7/12(水)の5日間、午前中を利用して校内で行うことに決まった。

ボリショイ・バレー鑑賞

7月14日(金)全学年でNHKホールを借りてボリショイ劇場のバレーの公演を鑑賞する。曲目は『白鳥の湖』です。

収穫祭風景



1993卒業アルバムより

同期会だより

5期 「40年後の卒業式に出席して」

去る3月24日に行われた平成6年度志木高卒業式に、私達5期卒業生有志18名が卒業40周年記念として出席させて戴きました。

式の終了後、学校側に志木会よりの寄附金と5期有志分を加えた計56万円を贈呈、大変感謝されました。

久しぶりの母校に懐かしさと嬉しさが交わり、過ぎし青春の日々を思い出しつつ時の経つのも忘れてしまう楽しい一日でした。

卒業式での鐵野校長先生の式辞や栗林塾常任理事の祝辞に、忘れかけていた昔日のみずみずしい気持ちを呼び起こされました。

卒業証書授与の際に、卒業生各クラスそれぞれのパフォーマンスは、喜びの表現も40年前とはかなり違うユニークさで「時代」を感じました。

キャンパスの佇まいも、先生方のお顔ぶれも、そして、卒業式そのものも以前とは大きく変わる中で昔と少しも変わらないものが二ツあることを発見しました。

それは、キャンパスの中の「柿の木」と志木高特有の「自由の中の節度」ある雰囲気でした。

この点について、当日式後行われました卒業生父兄主催による謝恩会に参加させて戴き、OBとしてのお祝の言葉の中で触れさせて戴きました。

4月から志木会員になられた皆様おめでとうございます。また、当日お世話になりました鐵野校長、伊藤主事はじめ学校関係者の皆様、ありがとうございました。都合をつけて出席した5期有志の皆様ご苦労様でした。

当日出席の5期有志18名は以下の通りです。

秋庭　勝廣	飯田　三代	加藤　晴彦
木下　　聡	小池徳太郎	小林　石三
関山　　清	高橋　直衛	竹下武比古
龍野　光久	寺嶋　延行	寺本　　守
林　　成郎	藤井　　洵	宮田　　勝
安川　通夫	矢作　実利	渡辺　弘治

以上

(5期 宮田勝記)

8・9期

去る5月7日(日)第8期生・第9期生の有志による、第25回ゴルフコンペを、栃木県ヒルクレストゴルフクラブにて開催しました。

当日は、天気にも恵まれ、和気あいあいとプレーし、又、連休最後の日曜日と言うことで、交通事情の不安もよそに、行き帰り共スムーズに走行、貸切りバス車中での和やかな楽しい一日を過ごす事が出来ました。

優勝は、9期の、岡崎光伸君(out 41・in 37)。

この会は、年2回行っておりますが、一度は、多くの皆様の参加を呼掛け、休日実施を心掛けております。

今後の御参加希望の8期9期の皆様、下記幹事まで、御一報下さい。

次回開催が決まりましたら、御案内を、送付させて頂きます。

第8期幹事	第9期幹事
須山　了一	南部　達雄
大須賀　均	丹羽　博司
山田　順彦	須藤　政彦

(南部記)

11期 遊志会

本年度の活動経過状況は下記のとおりです。(敬称略)

○２月22日 木) 新年会 於：慶応大学三田ファカルティクラブ (幹事：C組)

来賓恩師(6名)：鐵野善資、野口福次、高山弘夫妻、建部勇之助、奥井泰夫

来賓(2名)：武藤好文(陶芸家)、高峰(三田評論)

会員(45名)：唐須教光夫妻、北原光夫、西光由、灰田公彦、細谷勝庸、村木善郎、望月洋、中西紘二、野村昭、西松実、吉沢伸二、服部光伸、高木正泰夫妻、山中楯機、滝啓二夫妻、栗原惇夫妻、馬渕祥宏夫妻、増山雅久、磯村吉孝、鴻田益孝夫妻、藤井祥彦、関口一朗、榎本邦彦、川原照男、森村陽一、大塚隆夫、山口磐夫妻、保坂規良、松川勉、佐藤(直)夫人・娘、神川寿、渋谷哲男、木村寿、川瀬忠夫、森田明弘夫妻、小林三朗 (計53名)

今年度より新たな企画としてご夫人同伴となりました。高山先生ご夫妻を初め多くの会員のご夫人参加があり和やかな新年会になりました。

○４月９日(日) 向島花見の宴とリバーサイド遊覧 (幹事：川瀬)

参加者：高山弘夫妻、磯村吉孝、川瀬忠夫夫妻、坂本照夫夫妻、篠原仁夫妻、野村昭夫妻、細谷勝庸、森田明弘夫妻、降旗英夫 (15名)

設定日がドンピシャリとなり屋形船で一パイやりながら楽しい花見の一日になりました。(写真)

○５月20日(土) 第50回ゴルフ大会 於：佐原スプリングC.C. (幹事：望月)

参加者：優勝 篠原 仁

２位 山本久方

３位 橋本裕治

池田信彦、市川清、大海渡嘉夫、川瀬忠夫、栗原惇、後藤敬一、滝啓二、細谷勝庸、馬渕祥宏、深山巍之助、森原孝夫、森田明弘、望月洋、森村陽一、浅原正樹、高山弘 (19名)

〈今後の予定〉

○７月21日(金) 「納涼能を楽しむ会」と夕食会 於：日比谷公会堂/東京三田倶楽部

○10月28日(土) 第51回ゴルフ大会 場所は検討中、予定だけ入れておいて下さい。(幹事：篠原)

○11月17日(金) 亥年お勉強と忘年会 於：両国「ももんじゃ」

「なけなしの財産をどう守る」

阪神大震災の教訓を生かして

以上

(馬渕記)

訃 報

出口洋輔君が３月17日夜急逝されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

14期

３月11日(土)に今年で退官される牛尾先生を囲み銀座「スエヒロ」にて23名の参加で開催した。高3の北海道旅行の赤痢騒ぎ、女性の曲線の話し(微積分にも似た高級なものです)や渓流釣りの話しを中心に楽しい一夜を過しました。次回は来年秋頃です。 (今村記)

写真部OB会

昨年３月退官された高山先生を囲み新宿の「三井クラブ」にてOB会を開催しました。

今後は、３年毎に開催予定しています。

今年秋には、幹事連絡会を開きますので各期より最低一名は御出席下さい。 (事務局：今村)

19期

恒例の19期生による第３回のゴルフコンペを４月８日(土)に茨城の美浦ゴルフクラブにて開催しました。

当日は天気にも恵まれ、13名が参加し腕を競い合い、優勝は山崎綱三君、準優勝は藤山勝済君が手に入れました。

これ迄3回のコンペで通算約30名の方が参加され、ゴルフの方は兎も角、プレー後のパーティーが毎回盛り上り、まるで志木高の教室にいる様な錯覚に落ち入ります。

これを機に各自が連絡を取り合い、付き合いが復活し、飲み仲間が増えた様です。

今後も年2回継続的に開催する事で総意を得ており、次回は10月６日(金)を予定して居ります。

幹事は優勝の山崎綱三君及び筆者の2人で運営しますので、参加したい方は下記へ是非連絡下さい。

記

幹事連絡先：村上功治

会　　社：ソニー生命 3343-8611

自　　宅：045－572－4564

……

20期

去る5月20日、21日の両日第20期同期会が、群馬県草津町のホテルビレッジに於いて、28名の参加を得て開催された。草津の温泉につかり、日頃の疲れをいやした後の宴会は、各自持ち寄りの自社製品、地元の名産品等を賞品にしてのビンゴや欠席者の葉書による近況報告がなされ、それぞれの思い出や近況等大いに話がはずんだ。

又、二次会は大カラオケ大会となり、なつかしいＧＳあり、演歌あり、ポップスありで時の経つのも忘れ大いに歌いまくり、盛り上がった。

翌21日は、嬬恋高原ゴルフ場にて有志14名参加によるゴルフコンペが新ペリア方式で行なわれた。天気予報は雨ではあったが、日頃の行ないにも、前日の大はしゃぎにも拘らず、曇天ながら１日楽しくラウンドできた。

我々20期生は、旧校舎で学んだ最後の生徒であり、又20期という節目の年次ということもあり、志木校に対する思い入れは、並々ならぬものがあるように思われる。

志木校時代の楽しい思い出を胸に、次回の再会を約し散会となった。

(ゴルフの成績は以下の通り)

	G	H	N	
優　勝：佐藤和義	80	7.2	72.8	
準優勝：黒川　博	86	13.2	72.8	
3　位：佐藤　彰	77	3.6	73.4	(B.G)

(幹事 佐藤和義)

……

23期

我々同期もあっという間の40才。厄払いという訳ではありませんが、この辺で久しぶりに同期会を開催します。第１回から時がたちましたが是非皆さんご出席を願います。たまには人生、立ち止まり昔の仲間に会ってみるのも良いものでは。

日時：平成７年７月29日(土)

午後５時～８時

場所：三田クラブ（帝国ホテルＢ１）

幹事：中村・谷口

※案内が往復葉書にて届きます。

志木会レポート

・平成７年度役員について

一部幹事に異動があり今年度は下記の役員で運営していきますのでご協力よろしくお願いいたします。

なお、本年度より会員となりました45期の幹事については近江賢介君を指名させていただきました。

平成７年度慶應志木会役員一覧表

平成７年５月

・名誉会長　　鐵野善資（校長）
・会　　長　　櫻井英太郎（１期）
・副 会 長　　多田毅（７期）　五老輝彦（９期）　伊藤明治郎（主事）
・監　　事　　龍野和久（１期）　菅原武（７期）
・幹 事 長　　大谷熙（１期）
・幹事・世話人

期	氏　　名（＊印世話人）					
１期	菊池誠之助	藤井　淳				
２期	＊佐藤弘司	鴻田一章	遠山正秀	浅川　浩		
３期	品川　仁	岩崎勝利	菅野光男	岩瀬　充		
４期	高橋公郎	立岡　進	＊藤岡民良			
５期	宮田　勝	＊寺嶋延行	小林石三			
６期	真野信裕	松本福太郎				
７期	鈴木正治	平澤壽朗	早川　進	渡辺忠彦		
８期	＊青木宏至	大須賀均	磯部和宏			
９期	＊久保田晃功	南部達雄	加島延夫	今村信男	志知英男	
10期	＊荒木幸生	馬場紘二				
11期	＊鴻田益孝	＊桜井　馨	馬渕祥宏			
12期	＊岡本　哲	＊大道賢二	＊伊藤清一	朝倉和行	黒崎明雄	＊品川雅貴
13期	＊千葉宗雄	清水武寿				
14期	島崎　茂	石塚久恭	佐久間義雄	今村　巍		
15期	＊本橋重夫	＊小笠原準一	＊原田　薫	倉田伸二	＊鈴木祐一	
16期	川端清治	松島茂樹				
17期	＊西村孝一	＊須永泰司	＊増山治一郎	荘　敬典	宗田文明	
18期	奥村一人	福島由明				
19期	＊中西廣策	藤本賢夫	二島洋司	星野恭一郎		
20期	中　一弥	金子博志	杉　雅俊			
21期	＊福地敏之	＊飯島敏一	内山洋一	小野田哲也		
22期	＊金子康雄	桜井造雄				
23期	佐藤信也	外山公夫	中村弘司	谷口　治	逢沢一郎	
24期	＊赤木　均	島影幸有	田沼　潔	長本　誠		
25期	高橋宣行	小川　洋	島田　徹			
26期	山崎嘉正	金子　泉				
27期	吉野幸宏	大山俊雄	＊轟　幸夫			
28期	大舘　信	望月　一				
29期	佐々木任人	木村尚行				
30期	岸田一男	木島一郎				
31期	内匠屋健	曄道佳明				
32期	町野素久	横江資友				
33期	小玉　裕	河野　潔				
34期	奥山研一郎	山下　孝	宇賀神隆			
35期	松島　修	業天浩二				
36期	石川公一郎					
37期	原田純一	鍋島康友				
38期	平尾圭一	知久康成				
39期	＊丸山和紀	＊岡本健司	田中浩樹			
40期	＊井上晴生	税所篤史				
41期	柏木　徹					
42期	小島　圭					
43期	鞍原一暁					
44期	宮田真詞					
45期	近江賢介					

※連絡先　伊藤清一（12期）　TEL03-3432-1393
　　増山治一郎（17期）　TEL03-3502-9222

MESSAGE

●平成６年度慶應志木会の収支決算につきましては６月１日(木)に開催されました幹事会において次のとおり承認されましたのでご報告いたします。

平成６年度慶應志木会事業収支

(6/4～7/3)

平成７年３月31日現在

科目	金額	科目	金額
会費	4,750,000	会報費	2,781,930
新入会費	1,150,000	会議費	494,832
名簿収入	65,000	式典費	90,000
広告収入	0	人件費	670,200
預金利息	192,641	交際費	50,290
物販収益	2,584	収穫祭	300,000
打上会費	84,000	事務費	107,357
寄付金	0	通信費	59,690
		振込手数料	13,596
		名札代金	802,787
		寄付費	400,000
		パソコンソフト	373,890
収入計	6,244,225	支出計	6,144,572
前期繰越金	24,620,502	次期繰越金	24,720,155
合計	30,864,727	合計	30,864,727

1月の阪神淡路大震災では当会の会員も多数被災されており心が痛みます。櫻井会長より兵庫県在住の約150名の会員にお見舞状をお送りしたところ次の会員の皆様よりご返事をいただきました。いずれの皆様も家屋、家財道具等は被災されていますが怪我もなく無事であるとのことを申し添えます。

(ご返事を頂戴した方々、敬称略)

加藤英治（１期）・田尻種彦（８期）・木脇俊隆（11期）
赤松正治（14期）・加藤忠晴（14期）・羽鳥正稔（15期）
辻　昌夫（15期）・中川憲一（15期）・秋本一之（15期）
浅見　勇（24期）・木村勝明（25期）・秋田和之（28期）
小林伸行（30期）・城　博司（40期）

慶應志木会会報　1995(春・夏号)● Vol.13　　平成７年６月30日発行
編集・発行　慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)　　発行人　櫻井英太郎
〒353 志木市本町４－14－１　　印刷　㈱精興社

名称変更について

我が校は長年**「収穫祭」**の名称で文化祭を開催してきました。回数にして47回（昨年度まで）。この数字は本塾高校（日吉）よりも１回多く、また他の高校においても、これだけの回数を数える文化祭は少ないであろうと思われます。

この半世紀近く続いてきた**「収穫祭」**に、諸先輩方は深い愛着と誇りを持っておられるでありましょうし、我々在校生も、この名に先輩方に負けないくらいの愛着と誇りを持っています。

この**「収穫祭」**の名称を、我々は、変更したいと考えています。

こうお聞きになると、先輩方はどうお思いになるでしょうか。反対されるのではないかと思いますし、どうして変えるのか、その根拠を問われるのではないかと思います。

我々としても、当初はあと数年で50歳を数える**「収穫祭」**の名で文化祭をとりおこないたいと考えていたのです。しかし、ここ数年は**「収穫祭」**という重みのある名に隠れて、必ずしも良いとはいえない伝統が発生してしまいました。いい加減な展示・発表、後夜祭中心の開催、ずさんな運営、数々の不祥事などです。もちろん、すべての回が、すべての展示・発表が悪いわけではありません。これまでの中には、これからも受け継いでいくべきもの、我々後輩の誇りとなるものもあります。これらの方が数は多いでしょう。しかし、ごく一部の良くない伝統の発生による弊害のため、収穫祭全体が、当初の「学校生活の成果＝収穫を発表する場」としては曲がり角に来ているのではないかと考えます。そこで、我々はこれまでの収穫祭の良い点は受け継ぎ、良くない点は改めて、新しい文化祭を作るという目的で**「収穫祭」**の名称を変更したいと考えます。

以上が、我々が名称を変更したい理由ですが、先輩方の中には「別に名称を変えなくても、内容を良いものにすればいいのではないか」とお考えになる方もおられるかと思います。もちろん、その通りであります。内容を変えれば、確かに事は足りるでしょう。実際、昨年の実行委員会はそう考えて、昨年の収穫祭は名称こそ**「収穫祭」**ですが、組織から、内容から、これまでのものとは、全く違ったものにして、新しいものを作ろうと試みました。が、実際は一部のところで新しい事が出来たに留まり、全体として完全に成功したとは言えませんでした。様々な原因が考えられますが、一つの大きな原因として、「新しい収穫祭を作ろうと試みたのだが、収穫祭という名に皆がとらわれすぎてしまった」事が挙げられると思います。**「収穫祭」**という名は、無意識のうちに、我々の中で大きなものとなっていたのでした。この重い、伝統のある**「収穫祭」**という名前をあえてここで打ち切り、今年こそ、新しい文化祭を我々はつくりたいのです。

もちろん、我々も一生懸命頑張ります。前回の反省の中に「準備期間が短かった」という声がありました。そのため今年は２月の段階から「文化祭準備委員会」という組織を作りました。この準備委員会は生徒会のもと、４月に改めて発足した実行委員会の前身として機能し、開催に向けた大綱を作成するのが仕事で、準備委員会は実行委員会ができた段階で発展的に解消し、その成果と残された課題は実行委員会へと引き継がれました。

そして平成７年度の実行委員会は有志によって集まった31人によって運営され、活動しています。

先輩方の胸中には収穫祭に対する思い入れが強く残っておられ、このまま続けて欲しいとお考えになられることも承知しております。が、ここで是非、我々後輩の決意をお受け取りいただきたいと思います。どうか、どうか宜しくお願い申し上げます。